



世界につながる学びの場

2005年度 第12期

地球市民アカデミア

21世紀の地球社会
あなたはどうか生きていますか？

第12期生 募集要項

- 開催期間 2005年5月～2006年2月(全16回/合宿3回を含みます)
- 募集対象
 - ・国際協力やグローバルな問題に関心がある人
 - ・地域社会や身近なところから何かを始めたい人
 - ・原則として全回参加できる人
 - ・18歳以上の人
 - ・他の受講生と協力しながら受講できる人
- 定員 35名(先着順)
- 参加費用 54,800円(学生のみ分割払い可 応相談)
 - ・登録費、受講料、資料代、後期グループ活動費等が含まれます
 - ・合宿費用は別途かかります
- 会場 東京YWCA(東京都千代田区神田駿河台1-8)
- 募集締切 2005年4月22日(金)必着
- 申込方法 所定の用紙に必要事項(氏名、住所、電話番号、所属、志望動機)をご記入の上、下記までお送り下さい。E-mail、FAXでの申込みも可。



●お申し込み・お問い合わせ「第12期地球市民アカデミア」事務局
〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37 明治学院大学 国際平和研究所内 勝俣研究室気付
E-mail: office@academia-gc.org URL: http://www.academia-gc.org
FAX: 03-5421-5653 TEL: 03-5421-5652

受講生の声

職業、世代など生活背景の全く違う人々の集まりなのに違和感がなく、本音で付き合える仲間と出会う場所。学生も社会人もみんなの声が自然に響く「アカデミア空間」はみんなが元気をもち帰る、貴重な場所でした。今でも共に学んだ仲間が宝物です！

教員になって十数年、学校を飛び出して、一人の市民として学び、活動してみようというアカデミアへ。誰かに何かを授けてもらうのではなく、自分から仲間を作り、話を聞きたい人に会い、共に一歩を進めようという思いと向き合い、18歳の大学生も40代の社会人も「私」に響いて円くなって産る。それがアカデミア！

横山優子 (NGOスタッフ 1期生)

柏村みほ子 (教員 4期生)

堀内聡子 (学生 9期生)

これから何をすべきか、いろいろ探し回って行き着いたのがアカデミアでした。年間の講座を通じて、いろいろな出会いがあり、自分と世界がつながりました。互いにより影響を与え合えることができる、心地よい場所でした。

高橋英一郎 (児童指導員 3期生)



鈴木勝 (育林業 5期生)

アカデミアは仕事も年齢も様々、多種多様な人達と自由に議論し、色々な人の考え方が聞ける場所。私も学生時代と比べると変わった自分を見ることができた。アカデミアは自己発見・再発見の場になるのではないのでしょうか。



地球市民アカデミアって、どんなところ？

社会に発信する能力、あらゆる問題に敏感になる感覚、問題の根源や裏にあるものを知ろうとする力。アカデミアでは、それを養う上で温かな経験ができ、刺激しあえる仲間とも出会えた。社会や大学にいてさても感じる周囲の病的無関心や知的凶悪の不安を忘れさせてくれる唯一の場が、ここにはあった。

石黒秀典 (学生 11期)

志津安紀 (市役所職員 8期生)

一枚のちらしをきっかけに参加しました。受講生のときも修了生となってからも、大事な出会いをずっといただいています。さらなる「アカデミアつながり」の広がりを楽しんでいます。

仕事をしながら履き回ってしまっただけの自分、生き方を一歩戻して再構築する機会を与えてくれた場所。講師からはもちろん、受講生や運営委員との関わりの中で気づくことが多かったです。グループで作成した「たばこ」教材は大阪のコンテストで入賞！現在も教材に改良を加えながら活動中。

杉本伊知郎 (会社員 6期生)

企画・運営 第12期地球市民アカデミア運営委員会

〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37 明治学院大学 国際平和研究所内 勝俣研究室気付(担当:上條)
e-mail: office@academia-gc.org FAX: 03-5421-5653 TEL: 03-5421-5652 URL: http://www.academia-gc.org
～地球市民アカデミアは修了生が企画・運営し
さまざまな団体の協力を得ながら、広いネットワークの中ですすめられています～

協力・後援団体

- (準学) アジア学院
アジア・アフリカ諸国からの研修生が、食糧生産の基本、農村生活改善、よりよいコミュニティづくりを、生活体験を通して学んでいく農村指導者養成校です。
- (特活) 開発教育協会 (DEAR)
公正な地球社会をめざす開発教育を推進するためのネットワーク組織です。国内外の教育の情報収集・発信(教材づくり)、政策提言、調査研究等を行い、世界と学びの場をつないでいます。
- (特活) 国際協力NGOセンター (JANIC)
世界的課題に取り組む市民組織NGOの活動支援を目的に、NGOに関する情報収集・提供、広報、調査研究、人材育成、国内外のNGOとのネットワークを進めています。
- 東京YWCA専門学校
半世紀以上にわたり、社会の中で自立できる人づくりを目指し、実践的な教育を提供しています。社会福祉科は、福祉分野でのパイオニアとして高い評価を得ています。
- (社) 協力を育てる会
民間の立場から青年海外協力事業への理解を深め、協力隊活動に対する支援の輪を広げることを目的に、情報誌の発行や各地で国際理解セミナー等を行っています。
- 東京ボランティア・市民活動センター
都内のボランティアやNPOに関する情報提供や相談などを通じて、都民のボランティア・市民活動を支援しています。調査、研修、会議室貸出、活動助成も行っています。

1 オリエンテーション合宿

『環境、共生、そしていのち』
5月27日(金)夜～29日(日)
於: アジア学院(橋本・那須塩原)
講師: 高見敬弘氏【アジア学院創設者、地球市民アカデミア校長】
田坂真由氏【アジア学院校長】

学びの始めとして、土や緑、「いのち」に触れ、食、農、環境、ひととのつながりを感じてみませんか？この合宿では、農作業やアジア・アフリカ諸国からの研修生との交流などを通して、これから1年間何を学ぶかを共に考えていきます。



2 『グローバル化と「人間の安全保障」～21世紀の市民社会とは』

6月11日(土)
講師: 勝俣誠氏
【明治学院大学国際平和研究所】

経済のグローバル化に伴うさまざまな影響は、すべての人にとっての「安心して生きていける社会」を脅かします。今改めて「人間の安全保障」の視点からグローバル化を問い直し、市民社会に何が出来るのか、私たち一人ひとりがどう生きていけたらよいかを考えます。



3 『世界の読み方・語り方』

6月18日(土)
講師: 野中章弘氏
【アジアプレス・インターナショナル代表】

多様なメディアを通して私たちは溢れる情報に接しています。しかし、メディアが伝える「事実」をそのまま受け取ることなく、「真実」は何かを自分の力で考えることができるのでしょうか。情報をどう読み取り、活かしていくのかを考えます。

第12期 地球市民アカデミアカリキュラム
合宿以外の受講日はいずれも
土曜日13:30～17:00です

4 『遠くの貧困、近くの貧困』

7月2日(土)
講師: 田巻松雄氏【宇都宮大学】

グローバル化に伴い多くの人が、豊かさを求め、国境を越えて働きに出ています。一方、「豊かな日本」では、仕事や住む場所を失う人が増えています。世界の貧困と日本のホームレス問題を通じて、貧困と労働のあり方について考えます。



5 『世界とつながる子ども・若者たち』

7月16日(土)
講師: 橋原彰氏
【国学院大学】

今、子どもや若者たちは自分の生きる場所をどのように作りあげているのでしょうか？地球に暮らす「南」と「北」の子どもたちを取りまく環境とそのつながりを見出しながら、人が人と、そして世界と出会う場について考えます。

6 『私たち市民が社会を変える』

9月10日(土)
池田正昭氏・嵯峨生馬氏
【NPO法人 アースティマナー・アソシエーション】

私たちは今の社会でどのように行動を起こせるのでしょうか？経済・地域そして人とのつながりを変えようとする「地域通貨」の可能性から、私たちひとりひとりが積極的に社会と関わっていくあり方を考えます。

7 秋合宿

『自分の足もとを見つめて』
9月23日(祝・金)～24日(土)
講師: 金迅野氏
【神奈川県権謀師団】

世界の諸問題に関わっていくためには、私たちは隣の「他者」と望ましい関係性を築くことができるのか、自分のアイデンティティはどこにあるのかを考える必要があります。後期の共働学習へ踏み出すステップとして、自分の足もとを見つめて直すワークショップを行います。

8～15 共働学習

10月8日、10月22日、11月5日
11月19日、12月3日、12月17日
1月14日、1月28日
(いずれも土曜日)

グループ内での学びを通して、共に協力することを体験します。自分自身のテーマを明らかにした上で、グループごとのテーマを確定し、共働作業に入ります。NGOへの訪問、イベントの企画や国際教育教材の作成など、各グループ独自の活動を展開します。

16 プレゼンテーション合宿・修了式

2月11日(土)～12日(日)

この合宿では、約9ヶ月間にわたる学びやグループ活動の成果を互いに発表し合い、共有します。今までのあなたとどう変わっているのでしょうか？修了式を経て、地球市民としての次のステップへとつながっていきます。



『地球市民アカデミア』とは

貧富格差の拡大、地球環境危機の高まり、民族紛争の激化など、世界をめぐる状況はますます深刻化しています。そのような世界の状況に対して、私たちは一人の地球市民としてなにができるのでしょうか。「地球市民アカデミア」は、国際協力や身近な地域での活動を通じて世界への働きかけを志す人々のための新しい学びの場です。

<同時代を共に生きる地球市民>

国際協力や開発援助に関する様々な意見がありますが、異なった社会状況の中、厳しい条件の下にある人々と共に生きようとするのは、学問の枠におさまるものではありません。これからの地球社会に求められているのは、国内外で経済社会的に困難な環境におかれている人々を援助や研究の対象として見るのではなく、同時代を共に生きる人間として理解し合い、共感できる力と感性を持った地球市民なのです。

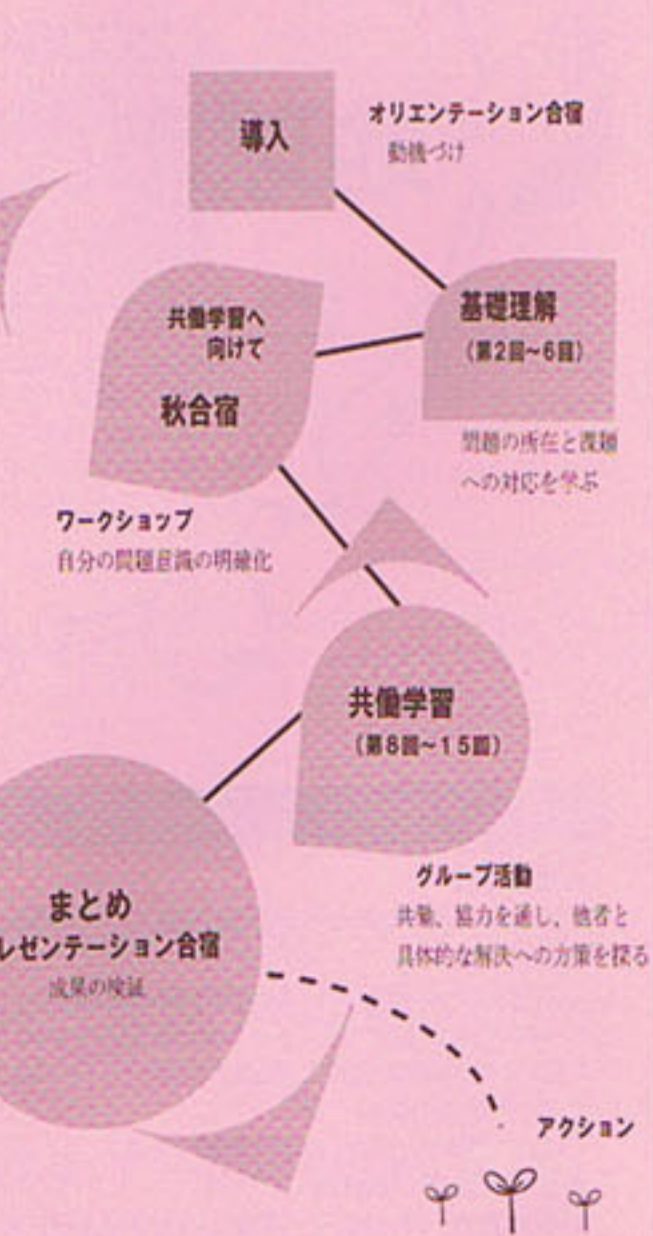
<地球市民アカデミアがめざすもの>

この講座では、将来国際分野や私たちの地域社会での活動を志す者が、現在の社会状況を正しく理解し、必要な知識やものの見方を学ぶと同時に、実際に国際協力や地域活動に携わる人々の経験に学び、活動への訪問などを通じて自ら選んだテーマを追究し、現実感のある学びを創り出します。そして、なぜ国際協力や地域活動が必要と考えるのか、どう関わりたいのか、何が出来るのかを深く掘り下げながら、自分自身の価値観を問い直し、これからの社会を創っていく上で大切な他者との協力関係の築き方を学んでいきます。

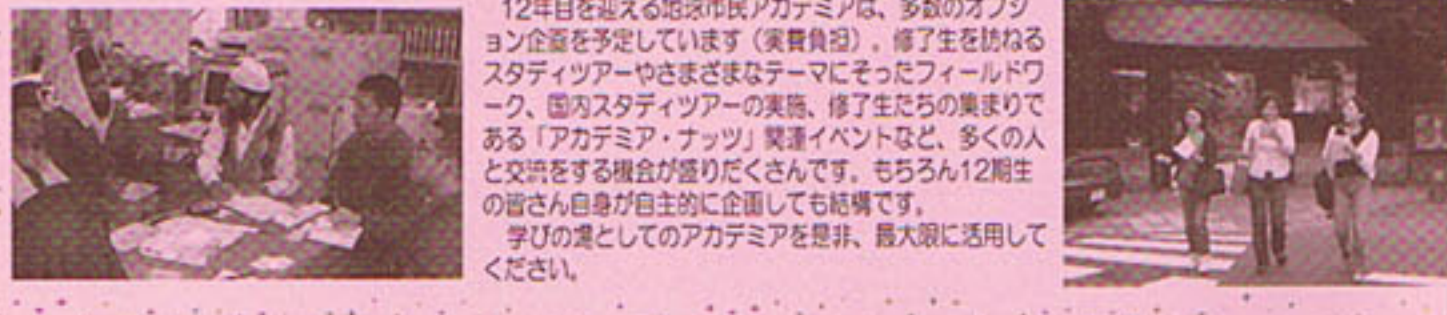
<共働学習による新しい学びのスタイル>

身近な環境から地球全体までにおける、私たちの持つ思いや理想を実際に行うには知識や情報を身にまとうだけでなく、それらをメッセージやアクションに変えていくことが必要です。そのためには、実体験や試行錯誤を通じて、異なる背景や意見を持つ受講生同士が互いに学び合う場が必要となります。「地球市民アカデミア」は、そんな今までにない新しい学びのスタイルを提案しています。

「地球市民アカデミア」の流れ



地球市民アカデミアは今年で12年目を迎えました！



12年目を迎える地球市民アカデミアは、多数のオプション企画を予定しています(実費負担)。修了生を協賛するスタディツアーやさまざまなテーマに合ったフィールドワーク、国内スタディツアーの実施、修了生たちの集まりである「アカデミア・ナッツ」開催イベントなど、多くの人と交流する機会が盛りだくさんです。もちろん12期生の皆さん自身が自主的に企画しても結構です。学びの場としてのアカデミアを是非、最大限に活用してください。